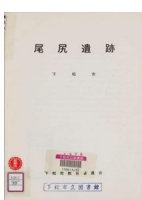


下松市・記者発表（配布）資料

令和7年7月31日

部 課 名	館 長	担 当	連 絡 先（直通）
図書館	網本 浩明	塩月 真彦	0833-41-0093
1. 件 名	「デジタルで知る・楽しむ くだまつ」の作成・配布について		
2. 目 的	下松市立図書館では、郷土下松に関する資料のデジタル化を進めており、『下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ』等に多数の資料を登録しています。登録されている資料の中には、通常の紙の本では貸出できない貴重な資料や、デジタルの特性を活かした3D画像やアニメーション資料もあり、パソコンやスマートフォンを使って、好きな場所・時間に見ることができます。 今回発行するリストでは、デジタル資料の中から、特におすすめのものをピックアップし、2次元バーコードを読み取ることで気軽にアクセスできるようにしています。 郷土下松に関する学習や、自由研究にお役立てください。		
3. 配布場所	・下松市立図書館、移動図書館あおぞら号 ・下松市役所 ・市内公民館 ※図書館ホームページでもご覧いただけます。		
4. 内 容	大正から昭和にかけた下松のまちの大きな変化をアニメーションで楽しむことができる『下松鳥瞰図』、市指定文化財の『絵馬』や『絹本淡彩妙見社参詣図』の高精細画像など、下松市立図書館でデジタル化している資料の主なものをまとめたリストです。		

下松市鳥瞰図（吉田初三郎 画） 	切山歌舞伎の歴史 	宮原遺跡 	尾尻遺跡 	為弘古墳群 
昭和24年発行の「下松市勢要覧」 「下松の観光と商工業」に使われた折り込み図の原画。 				
日本の航空とスキーの先駆者 長岡外史 	重要文化財 関伽井坊塔婆保存修理工事報告書 	下松市勢要覧 昭和15年 	下松市制具申書 	花岡郷土誌 
久保村郷土誌 	大下松大観 	下松市勢図覧(昭和28年) 	下松市史異説 	下松のいろいろの歴史 
末武南村郷土誌 	都濃郡米川村誌 			

デジタル化されていない貴重な郷土資料

リーフレット「下松で古地図さんぽ」
（画像：左） 鷲頭山と下松藩の歴史を歩く編
（画像：右） 商業と塩田で栄えた下松を歩く編

図書館で配布しています

寛延2年（1749）に藩が作成した下松の古地図を用いて、下松で起こった歴史上の出来事に関連する史跡や人物を解説したリーフレット。
2種類を発行しており、それぞれ異なる視点で下松の歴史をひも解いている。

下松市平成の記録

市町合併協議や大型商業施設のオープン等市の発展に大きな影響を与えた平成の時代の記録や記憶を次世代に残し、郷土に対する理解を深めることを目的として編さんされた。
従来の市史とは異なり、カラーページやカラー写真、図表を多数活用しており、平成時代を振り返った県内初の自治体史。
古代から昭和までをまとめた「下松市史 通史編」の後の下松を歴史を知ることができる。

図書館で貸出・閲覧できます

使ってみよう！便利な2つのデジタルサービス

下松市

郷土資料・文化遺産
デジタルアーカイブ

下松市
電子図書館
DIGITAL LIBRARY

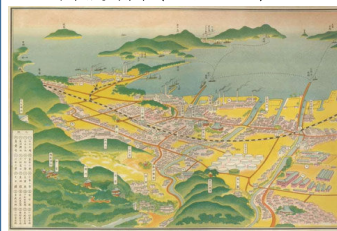
- インターネット環境があれば、時間や場所を選ばず下松市の文化財や郷土資料、昔の写真を見ることができます。
 - 画像の拡大や、キーワード検索などデジタルならではの使い方も便利。
 - 今の下松を形づくる歴史資料や文化遺産をご覧ください。
- 


スマホでも タブレットでも パソコンでも

デジタルで知る・楽しむ くだまつ



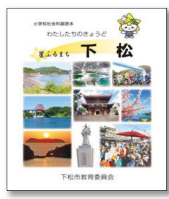
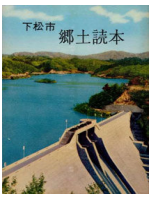
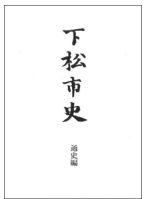
下松市立図書館では、郷土下松に関する資料のデジタル化を進めておりスマートフォンやパソコンで、好きな場所・時間に見ることができます。貸出できない貴重な本も気軽に見ることができるほか、アニメーションや3D画像などデジタルならではの楽しみかたもできます。このリストでは『下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ』『下松市電子図書館』『下松市立図書館ホームページ』で見ることができデジタル化資料をまとめました。郷土の学習や、自由研究などにお役立てください。

下松鳥瞰図（アニメーション）


『大下松大観』（昭和13年発行）に掲載された鳥瞰図。大正から昭和にかけて、山陽本線の開通、田畑や塩田が工場や民家に変わるなど、大きく変化する下松の様子をアニメーションで楽しむことができます。



日本の歴史から見る くだまつ	下松市の民話 民謡と伝説	下松市の風俗と生活 年中行事	下松市の石造文化財 祈りと生活	秋の夜話	くだまつの唄
					
縄文時代から昭和までの日本の歴史年表と、下松の歴史年表が並べられており、照らし合わせながら学ぶことができます。	『狐の嫁入り』など、市内各地に伝わる民話や民謡を収集。下松、花岡、笠戸の地名のおこり（由来）も掲載。	市内で古くから行われてきた年中行事72点を収録。地域の祭りも紹介している。	石仏・石塔・石祠・石碑・道しるべ、石鳥居、狛犬など、様々な石造物83点が収められている。	1939年11月3日の市制施行直前に、下松近代化に尽力した矢島重平が郷里の更なる発展を願い、思いを綴った随想録。	『下松市民歌』や『下松音頭』など発行の昭和49年当時に歌われていた唄や古くから伝わる下松の唄を収録。楽譜も多数。
					

みつて！ くだまつ① くだまつ降臨伝説	みつて！ くだまつ② くだまつハニワの謎！？	みつて！ くだまつ③ くだまつ古墳の謎！？	わたしたちのきょうど 星ふるまち 下松	下松市 郷土読本	下松市史 通史編
					
下松市の魅力について、「くだまつ」といっしょに楽しく学べるマンガ。第1話は、地名の由来のひとつとされる降臨伝説を紹介。	第2話は、令和2年度に天王森古墳から多数出土した埴輪たちの特徴や、なぜ珍しいといわれているか、その理由にせまる。	第3話は、天王森古墳に学べ、その他の古墳の出土品の秘密を学びながら、古代の下松がどのような場所であったのかを考える。	社会科の教科書では学ぶことのできない下松市のことについて、幅広く、分りやすくまとめた小学校社会科副読本。	昭和35年(1960)発行当時の下松市の気候や産業、働く人々の様子等が記されている。郷土の年表も掲載。	市制50周年記念事業として平成元年(1989)に発行された市史。古代から昭和までの下松がまとめられている。
					



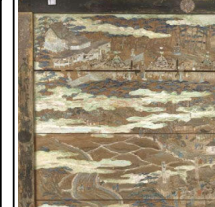
埴輪や銅鏡など 古代の下松を知る史料

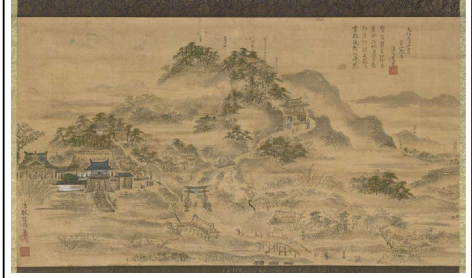
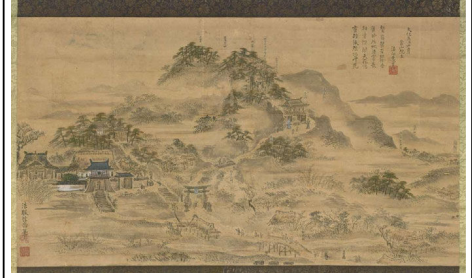
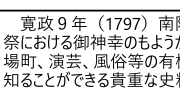
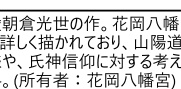
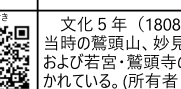
天王森古墳から出土した西日本有数の形象埴輪群の3D画像や、宮ノ洲古墳から出土した国指定重要文化財の銅鏡の高精細画像のほか、下松の古代を解き明かすために重要な文化遺産について、豊富な史料を見ることができます。

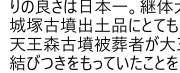


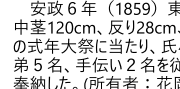
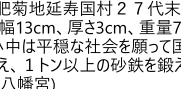
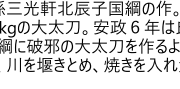
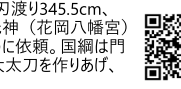
絵画や市指定文化財で よみがえる下松の風景

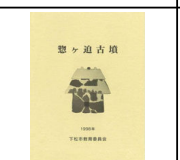
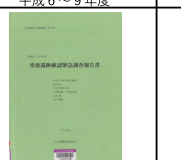
市指定文化財などの絵画の中には、はるか昔の人々の生活の様子や、まちの風景が活き活きと描かれています。人物の表情まで分かる高精細画像や、絵画が動きだすアニメーションなどで、当時の人々の暮らしにふれてみませんか。

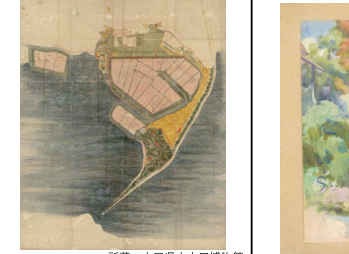
下松市 文化財めぐり	下松市の文化財	下松埴輪物語① 大刀形埴輪	下松埴輪物語② 家形埴輪Ⅰ	下松埴輪物語③ 巫女埴輪	下松埴輪物語④ 盾形埴輪
					
令和4年時点での下松市ゆかりの国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財を掲載。	昭和61年時点での市指定文化財を詳しく解説。国、県指定の文化財も掲載。	約1500年前の6世紀前半（古墳時代後期）に築造されたとされる天王森古墳から出土した形象埴輪について、それぞれの特徴や部位の名称などを解説するリーフレット。発掘直後の写真のほか、コラム『下松に移り住んだヤマトの将軍』『下松の古墳』『真の継体天皇陵 今城塚古墳 出土形象埴輪』を掲載。			
					

絵馬	【市指定有形民俗文化財】	絹本淡彩妙見社参詣図	【市指定有形文化財】
			
寛政9年（1797）南陵朝倉光世の作。花岡八幡宮例祭における御神幸のようが詳しく描かれており、山陽道の宿場町、演芸、風俗等の有様や、氏神信仰に対する考え方を知ることができる貴重な史料。（所有者：花岡八幡宮）		文化5年（1808）法眼信喬の作。当時の鷺頭山、妙見社の上宮、中宮および若宮・鷺頭寺の境内の様子が描かれている。（所有者：妙見宮鷺頭寺）	
			

天王森古墳形象埴輪出土状況	宮ノ洲古墳出土銅鏡	馬形埴輪 （宮原2号墳出土）	宮原2号墳
			
大刀形埴輪などの形象埴輪群が、古墳外側の濠から見つかった時の様子。器埴輪、人物埴輪、家形埴輪の3種類がそろっており、器埴輪の残りの良さは日本一。継体大王の墓と推定される今城塚古墳出土品にとってもよく似ており、天王森古墳被葬者が大王権力と強い結びつきをもっていたことを物語っている。	宮ノ洲古墳より享和2年（1802）に出土した銅鏡4面。国の重要文化財に指定されている。 画像出典 ColBase(https://colbase.nich.go.jp/)	山口県内では唯一の出土である馬形埴輪。	出土した馬形埴輪や円筒埴輪の実測図掲載。
			

破邪の御太刀	【市指定有形文化財】	妙見宮鷺頭寺の棟札	【市指定有形文化財】
			
安政6年（1859）東肥前地延寿国村27代末孫三光軒北辰子国綱の作。刃渡り345.5cm、中茎120cm、反り28cm、幅13cm、厚さ3cm、重量75kgの大大刀。安政6年は氏神（花岡八幡宮）の式年大祭に当たり、氏小中は平穏な社会を願って国綱に破邪の大大刀を作るように依頼。国綱は門弟5名、手伝い2名を従え、1トン以上の砂鉄を鍛え、川を堰きとめ、焼きを入れ太刀を作りあげ、奉納した。（所有者：花岡八幡宮）		下松における北辰妙見信仰に関する最古の貴重な史料。 （所有者：妙見宮鷺頭寺）	
			

家形埴輪 （惣ヶ迫古墳）	朝顔形埴輪 （惣ヶ迫古墳）	惣ヶ迫古墳	船の絵がある埴輪片 （常森1号墳出土）	重要遺跡確認緊急 調査報告書 平成6～9年度	下松市の古墳・埴輪 関連資料リスト
					
全国的にも珍しい、全体にびっしりと竹管文が押された家形埴輪。	底部が高い位置にある珍しい特徴を持った朝顔形埴輪。	左記の家形埴輪や朝顔形埴輪が発掘された惣ヶ迫古墳の調査報告。	船の舳先から破綻を下ろしているように見える線刻がある埴輪片。	市内の天王森古墳及び天王森西古墳、花岡古墳の調査報告が掲載。	下松市の古墳や埴輪に関する資料を集めたリスト。
					

絹本著色「覧海軒図」	宮洲塩田図	矢嶋邸水彩画
		
毛利元次から命名された磯部家別邸である浜邸「覧海軒」と思われる建物と、海浜に働く人々の様子を描いた風景画、風俗画的性格をもった絵画。 アニメーション	磯部家が所有する塩田、田、畠の各区画毎の面積、石高を示した磯部家の私的な絵図。	大蔵省で手腕を発揮した後、実業界に転身し、東京電燈会社初代社長となった矢嶋作郎が、明治24年(1891)に社長を辞し、住居を移した宮ノ洲の邸宅。鳥類画家の小林重三が描いた。
		